

まこと通信

2020
3
Vol.84

新型コロナウイルス対策特集

次の症状がある方は、
「帰国者・接触者相談センター（田川保健福祉事務所）」に
ご連絡下さい

**1 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が
4日以上続いている。**

（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）



2 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、風邪の症状や37.5℃以上の発熱が
2日程度続く場合、又は強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合

連絡先 田川保健福祉事務所 0947-42-9379（平日8時30分から17時まで）
夜間・休日の連絡先 092-471-0264

税・納付金の減免・猶予が受けられます

その他、新型コロナウイルス感染症の影響で生じた経済的な損失に対して、県税の猶予、水道料金の納付猶予、個人住民税の減免、市税の猶予、介護保険利用者負担額の減免、介護保険料の減免、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の猶予など、各種減免・猶予制度があります。詳しくは市町村の窓口にお尋ね下さい。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力ください

3つの「密」を避けましょう！

**① 換気の悪い
密閉空間**



**② 多数が集まる
密集場所**



**③ 間近で会話や発声をする
密接場面**



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター（集団）の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

生活福祉資金の特例貸付

福岡県社会福祉協議会では、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対して生活費等の必要な資金の貸付を行う「生活福祉資金貸付制度」に基づき、貸付を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯の資金需要に対応するため、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた「緊急小口資金」及び「総合支援資金（生活支援費）」の特例貸付の受付を3月23日から開始しています。

当該貸付の実施主体は、福岡県社会福祉協会、受付窓口は各市町村社会福祉協議会となります。

特例貸付の内容 ※貸付には審査があります

■緊急小口資金

一時的な資金が必要な方（主に休業された方）

特例措置

〔貸付対象者〕

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生活維持のための貸付を必要とする世帯

〔貸付上限〕

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方については20万円以内

〔据置期間〕1年以内

〔償還期限〕2年以内

〔貸付利子〕無利子

新型コロナ対策生活福祉資金特例貸付の連絡先

田川市社会福祉協議会	0947-44-5757
香春町社会福祉協議会	0947-32-4616
添田町社会福祉協議会	0947-82-2600
糸田町社会福祉協議会	0947-26-4540
川崎町社会福祉協議会	0947-72-5244
大任町社会福祉協議会	0947-63-4828
赤村社会福祉協議会	0947-62-3004
福智町社会福祉協議会	0947-22-6631

第47回

弁護士による
無料法律相談開催

担当弁護士：田川市役所前法律事務所 森竹 卓郎弁護士

開催日程

4月27日(月) 17:00～（1回30分程度）
佐々木まこと事務所にて

ご予約連絡先

0947-85-9015 ※ご希望の方は4月24日(金)までに
事務所までご一報下さい

子どもへの虐待をなくしたい

皆さんにできることがあります

田川市では、2018年12月、当時1歳の男児が肺炎で死亡し、その後夫婦が保護責任者遺棄致死容疑で逮捕されています（現在裁判継続中）。亡くなった子どもからは、エアガンで撃たれたアザや骨折痕も見られるなど、辛いニュースが駆け巡りました。

田川市、そして県が管轄する児童相談所もそれぞれ戸別に家族への接触を行っていたものの、このような事態になり、とても残念です。この件については、市・県ともに検証委員会を立ち上げています。

また、児童虐待については、行政だけでは対策に限界があります。地域住民などまわりが、異変に気づいたら、ちゅうちょせず関係機関に相談して頂きたいと思います。

田川地域の児童虐待通報件数は右肩上がりの状況で、田川児童相談所の建物も増築を余儀なくされる状況にもなっています。

児童虐待は、子どもの将来に大きな傷を残します。ぜひ多くの皆さんの力で、児童虐待をなくしていきましょう。



Point

1 子どもの虐待はどうして起こるのか？

なぜ、親がわが子を虐待するようなことが起きるのでしょうか。

多くの場合、ひとつのことが原因ではなく、様々な要因が複合的に重なったとき、家族の関係が不安定なため、子どもの虐待が発生すると言われています。

また、虐待をする親は、ひとりで悩み続けた結果、子どもの虐待につながる結果も分かっています。虐待をしている親への支援も、虐待を受けた子どもと同様に必要とされています。



親の要因

■育児不安

（子育てがうまくいかないなどの不安によるストレスなど）

■親自身の虐待された経験

（精神的なトラウマ）

■病気・障がい

（病気等の体調不良による養育力の低下）

■精神的に不安な状態

（産後うつやアルコール依存など）

子どもの要因

■育てにくい子ども

（かんしゃくが激しい、こだわりが強い）

■病気・障がい

（先天異常の疾患、発達の遅れなど）

家族を取り巻く要因

■核家族化によるもの

（育児に関して相談できる人がいない）

■不安定な夫婦関係

（夫婦げんかが絶えない、ドメスティックバイオレンス）

■経済的不安

（不景気による収入低下・失業など）

■地域からの孤立

（近所の人との付き合いが薄い）

京都府 HP より

子どもの虐待発生の可能性大

Point

2 家庭で育つ温かさを全ての子どもたちへ 里親制度紹介

1 いろいろな里親のかたちがあります

短期	季節・週末里親 ■数日～OK お正月休みや長期休み、週末などに数日から1週間程度子どもを家に迎える里親
長期	養育里親 様々な事情により家族と暮らせない子どもを一定期間、自分の家庭で養育する里親 養子縁組里親 養子縁組によって、子どもと法的な親子関係を結ぶことを前提として養育する里親

2 子どもの養育に必要な経費が毎月支給されます

里親手当（月額）
 1人目 / 8万6,000円
 2人目以降 / 4万3,000円

生活費（月額）
 乳児 / 5万8,570円
 乳児以外 / 5万800円

※別途
医療費・教育費なども
支給されます

3 受け入れまで段階を踏むので安心！

1: 相談

児童相談所にご相談ください。
里親制度について詳しくご説明いたします。

2: 研修・家庭訪問

研修は数日間、里親制度や子どもの権利擁護について学び乳児院などで実習も行います。

3: 登録

都道府県の審査を経て、里親登録となります。

4: 子どもとの出会い

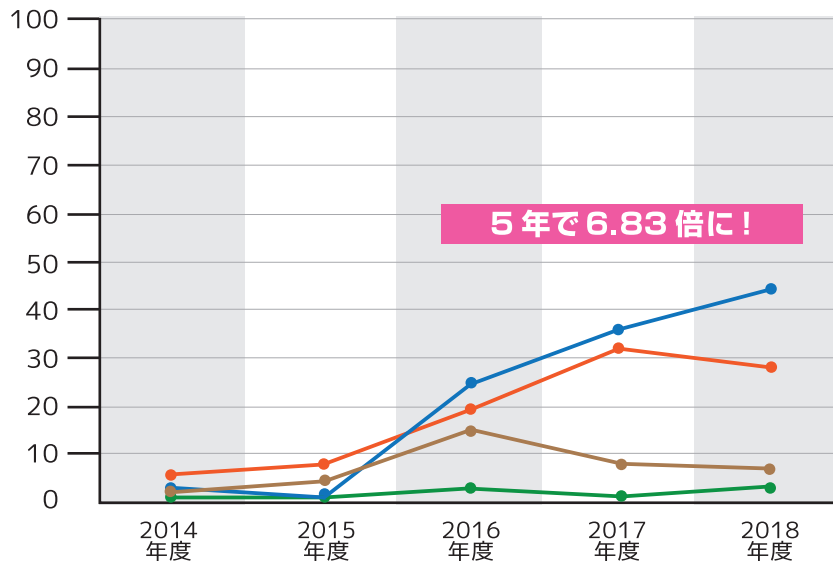
子どもの紹介を受けて面会し、外出や数日間の宿泊などで交流します。

里親委託

児童虐待相談対応件数の推移

(単位：件) ● 身体的虐待 ● 性的虐待 ● 心理的虐待 ● ネグレクト

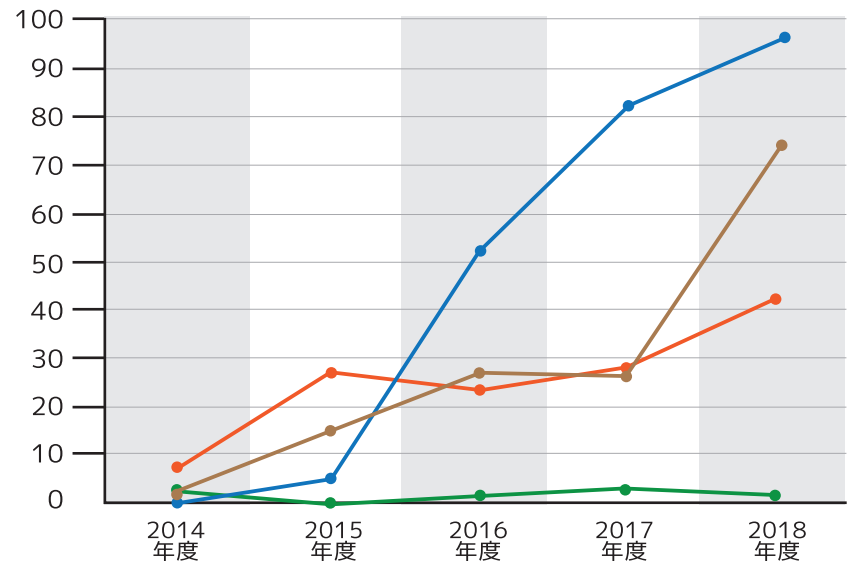
田川市



計 12件 18件 63件 76件 82件

田川郡

5年で17.7倍に！



計 12件 48件 104件 140件 212件

児童虐待の種類

身体的虐待 ― 殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する など**性的虐待** ― 子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、ポルノグラフィの被写体にする など**ネグレクト** ― 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など**心理的虐待** ― 言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（ドメスティック・バイオレンス：DV）、きょうだいに虐待行為を行う など

※福岡市子ども虐待防止活動推進委員会より抜粋

近所の子どもたちと
あいさつをかわす

子どもが困ったときに「話してみようかな」と思うのは、ふだんから顔を知っていて、安心できる人です。何か話そうとしなくても大丈夫です。まずは笑顔で「こんにちは」と言ってみませんか。

しっかりと
子どもの話を聴く

大人に頼ってほしいところを自分だけで頑張っていたりします。一人ひとりの大人の話を聴く姿勢の積み重ねが、助けを必要とする子どもにきっと届きます。

困っている人に
声をかける

保護者が虐待にいたる背景には、仕事や生活に余裕がなかったり、気持ちが追い詰められている場合があります。大人同士のちょっとした支えの積み重ねが、家庭の中にいる子どもにもプラスに働くはずです。

県内における児童虐待案件の大幅な増加によって、一つ一つのケースにきめ細かく対応していくことが求められる児童養護行政が適切に対応できない状況になってきています。

特に田川児童相談所が所管する筑豊地域は困難案件が多い地域であり、これまでも現職警察官の配置などを行ってきましたが、今年4月から、田川児童相談所の人員を新たに8名（職員7名、警察官1名）増員することになりました。

具体的には、新たに「里親・施設課」を新設。里親委託を推進します。また相談第一課に「初動対応係」を設置し、介入を迅速に進められる体制を構築します。

また、これまで警察官を1名配置していましたが、2名体制となり、県警との連携や困難案件への対応が強化されます。

虐待かもと思ったら 189 に電話する

189は、「虐待かも」と思った時や子育てに悩んだ時に、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。近くの児童相談所に24時間つながります。通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人やその内容に関する秘密は守られます。



児童虐待相談窓口

田川児童相談所 0947-42-0499

田川市	子育て支援課	0947-85-7132	川崎町	健康づくり課	0947-72-5800
香春町	福祉課	0947-32-8415	大任町	福祉課	0947-63-3004
添田町	保健福祉環境課	0947-88-8111	赤村	住民課	0947-62-3000
糸田町	福祉課	0947-26-1241	福智町	福祉課	0947-22-7763

2019 年度 田川市内主要工事・業務委託一覧

猪位金川河川改修
地域要望を実現

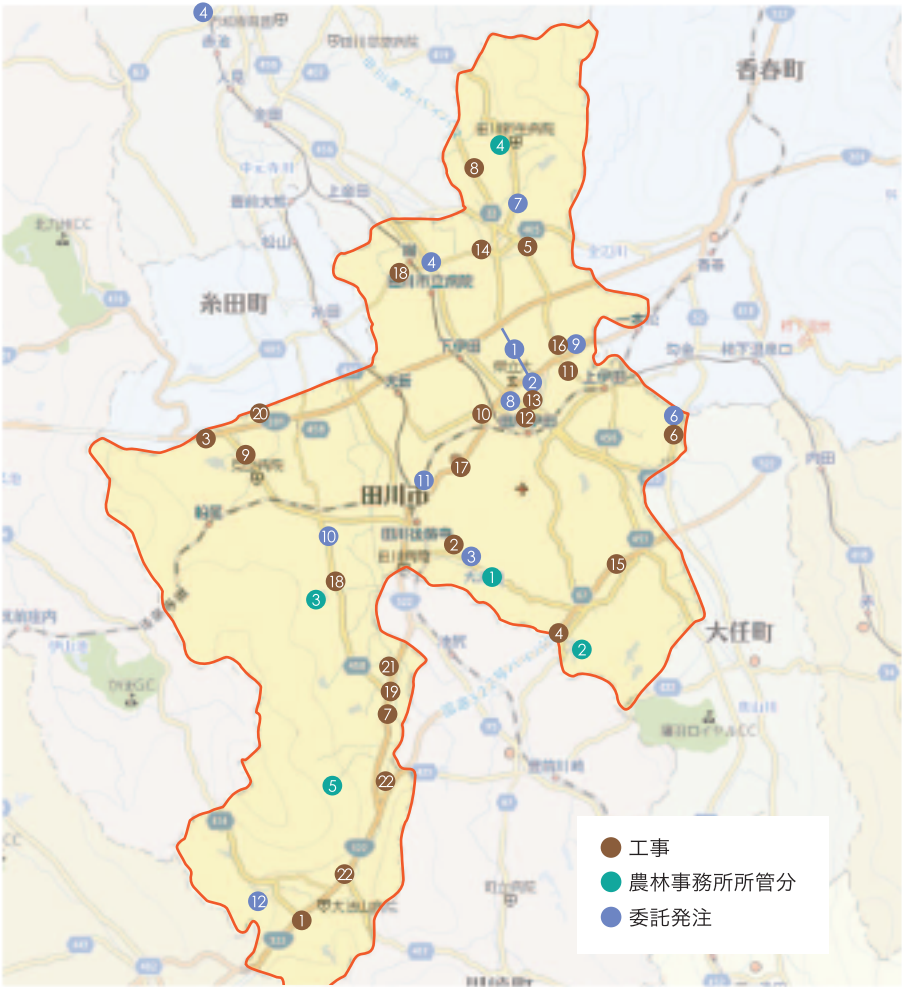
2019 年度における、田川県土整備事務所、そして飯塚農林事務所管内の事業執行一覧がこのほど明らかとなりました。

県管理河川「猪位金川」では、現在進められている「郷土の水辺づくり事業」が本年度も進められ、遊歩道の再整備、雑草撤去など、猪位金校区の皆さんの要望の実現を図ることが出来ました。

来年度以降も進めていく予定になっています。



遊歩道の再整備や雑草撤去で綺麗になった猪位金川



工事				
	路線名	工事名	箇所	工事費※万円止め
①	猪国豊前栲田停車場線	県道猪国豊前栲田停車場線安全施設設置工事（4 工区）	大字猪国	479 万円
		県道猪国豊前栲田停車場線排水工工事		224 万円
	国道 3 2 2 号	国道 322 号カラー舗装工事		371 万円
②	中央団地川宮線	中央団地川宮線道路改良工事	奈良	391 万円
③	添田赤池線	県道添田赤池線（糸田 3 工区）道路改良工事（2 工区）	大字弓削田	789 万円
④	国道 322 号バイパス	国道 322 号道路防災工事（1 工区）	大字伊加利	4,068 万円
		国道 322 号道路防災工事（2 工区）		3,138 万円
⑤	金田夏吉伊田線	県道金田夏吉伊田線橋梁補修工事	大字夏吉	2,799 万円
⑥	八女香春線	県道八女香春線局部整備工事	大字伊田	3,795 万円
⑦	国道 322 号	国道 322 号道路舗装補修工事	大字位登	2,352 万円
		国道 322 号道路舗装補修工事（1 工区）		2,023 万円
⑧	田川直方線バイパス	県道田川直方線舗装補修（夏吉工区）	大字夏吉	1,642 万円
⑨	添田赤池線	県道添田赤池線道路舗装補修工事	大字弓削田	1,529 万円
⑩	国道322号・川宮伊田線	一般国道322号・川宮伊田線道路補修工事	大字伊田	2,424 万円
⑪	金田夏吉伊田線	県道金田夏吉伊田線道路舗装補修工事		1,163 万円
⑫	田川桑野線	県道田川桑野線道路舗装補修工事	大字伊田・魚町	1,010 万円
⑬	金田糸田田川線国道322号	県道金田糸田田川線他 1 路線道路補修工事	大字桜町	1,282 万円
⑭	香春糸田線	簡易整備工事	大字夏吉	1,819 万円
		簡易整備工事		1,061 万円
⑮	国道 322 号 BP	歩道舗装工事	大字伊加利	464 万円
⑯	国道 322 号	防護柵設置工事	大字夏吉	381 万円
⑰		防護柵設置工事	大字中央町	497 万円
⑱	位登糸田線等	道路照明工事	大字弓削田等	187 万円
⑲	猪位金川	猪位金川郷土の水辺整備工事（1 工区）	大字位登	435 万円
⑳	泌川	泌川河川災害復旧工事（第 19 号）	大字弓削田	374 万円
㉑	猪位金川	猪位金川郷土の水辺整備工事	大字位登	990 万円
㉒		猪位金川魚道整備工事	大字猪国	539 万円

農林事務所所管分				
	事業名	地区名	事業内容	事業費
—	地籍調査	市内各所	地籍調査（位登・夏吉・川宮・伊田）	4,110 万円
—	鳥獣被害防止総合支援事業	市内各所	金網柵 2,525m	400 万円
①	調査設計業務	大字奈良	ため池耐震性調査（大浦池）	920 万円
②	調査設計業務	大字伊加利	ため池耐震性調査（滑り池）	880 万円
③	県営ため池等整備事業（一般）	大字弓削田	ため池事業計画策定一式	1,620 万円
④	県営ため池等整備事業（一般）	大字夏吉	ため池工事ゲート製作据付工事	4,940 万円
—	森林環境税事業（荒廃森林整備）	市内各所	整備区域特定調査 28ha	30 万円
⑤	農山漁村地域整備交付金	大字猪国	橋梁点検診断	70 万円

委託発注				
	路線名	工事名	箇所	工事費 ※万円止め
①	田川直方線（BP 延伸）	物件調査業務委託（1～6 工区）	大字伊田	44,891 万円
②	田川直方線（BP 延伸）	地質調査業務委託	大字伊田	2,767 万円
		水路工詳細設計業務委託		3,972 万円
		田川直方線土地評価業務委託		8,801 万円
③	中央団地川宮線	（都）中央団地川宮線再評価資料及び認可申請図書作成業務委託	大字奈良	880 万円
		中央団地川宮線建物等再算定業務委託（1～4 工区）		432 万円
		中央団地川宮線物件調査業務委託（10～15 工区）		2,714 万円
		中央団地川宮線土地評価業務委託（2 工区）		123 万円
		中央団地川宮線土地評価業務委託（3 工区）		264 万円
		中央団地川宮線地質調査業務委託	丸山町	275 万円
		中央団地川宮線外協議資料等作成業務委託	大字奈良	759 万円
		中央団地川宮線移転工法検討業務委託		60 万円
		中央団地川宮線建物事前調査業務委託		114 万円
		中央団地川宮線用地測量業務委託（4 工区）		624 万円
		中央団地川宮線用地測量業務委託（5 工区）		297 万円
④	田川直方線他	欄橋他 1 橋橋梁詳細設計業務委託	大字欄他	2,171 万円
⑤	管内一円	橋梁点検業務委託（2 工区）	市内各所	1,561 万円
⑥	八女香春線	建物事前調査業務委託	大字伊田	266 万円
⑦	夏吉直方線	基準点測量業務委託	大字夏吉	115 万円
		土地評価業務委託		322 万円
⑧	今任原伊田線	建物調査（再算定）業務委託	大字伊田	67 万円
		建物調査（再算定）業務委託		39 万円
⑨	国道 322 号	建物調査（再算定）業務委託	大字伊田	90 万円
⑩	位登糸田線	測量業務委託	大字弓削田	121 万円
		土質試験業務委託		132 万円
		道路詳細設計業務委託		630 万円
⑪	千代町地区	千代町地区急傾斜地崩壊対策地質調査業務委託	千代町	643 万円
⑫	猪国地区	土砂災害防止法に基づく数値地図作成及び基礎調査業務	大字猪国	478 万円

日田彦山線復旧問題 知事・年度内決断を断念

県議会 沿線自治体向け 振興基金創設を決議

2月定例会では、代表質問や一般質問、予算特別委員会などで、日田彦山線復旧問題が各会派から質問されました。

特に知事は、これまで年度内に復旧方針を決めるとしていたこれまでの判断を、東峰村の意見集約が十分でないことなどをあげ、「3月末の決断は難しい」との判断を示しました。

年度内の復旧方針決定というこれまでの判断については「大変重いものだと思っているが、今月中に方針を決めるのは難しく、できるだけ早くより良い結論を出していきたい」と述べています。

また、新年度予算に沿線自治体の振興予算が組み込まれていないことが問題視され、予算特別委員会がたびたび紛糾。議論がストップする事態となりました。

私は引き続き、全線復旧を強く求めていきたいと思っています。

県議会の主要4会派（自民・民主県政・公明・緑友会）は、2月定例会で「日田彦山線復旧問題に関する決議」を提出。全会一致で採択されました。

この決議文には、復旧の現状について「早期復旧を求め続ける住民の声がJR九州や知事に届いていないかのごとく、復旧問題の解決は何ら進捗していない」「知事が自らの立場を明確にせず、住民に寄り添った問題解決に積極的に取り組まない現状は、極めて遺憾」と厳しく批判しています。

その上で、今後「本件がJR九州や関係自治体と連携し、早急に住民に寄り添った地域振興に取り組むとともに、これを長期的かつ安定的に継続するため、振興基金等の確実な財源を確保するよう求める」と振興基金の設置を求めています。

日田彦山線復旧問題に関する決議

平成二十九年七月に九州北部を襲った集中豪雨災害によりJR日田彦山線の添田駅と夜明駅の間が不通となって、既に三年近くの歳月が過ぎようとしている。

この間、地域住民の生命線であり、宝であった日田彦山線の早期復旧を求め続ける住民の声がJR九州や知事に届いていないがごとく、復旧問題の解決は何ら進捗せず、むしろJR九州から、地域住民の願いに反したBRTによる復旧案が提案される等、住民の不安と不信は増大するばかりである。また、代行バスが運行しているものの、定時性、速達性、安全性に欠け、通勤、通学の足としての機能は不十分で、このままでは、地域の衰退が加速する恐れがある。しかるに、住民生活の安全と安心に責任を負う知事が自らの立場を明確にせず、住民に寄り添った問題解決に積極的に取り組まない現状は、極めて遺憾である。

このような状況を打破するため、福岡県議会議員が中心となって活動する九州の自立を考える会がJR九州との意見交換を行い、添田町や東峰村の声を聴く中で明らかになったのは、本地域の観光その他の産業を振興し、住民生活の利便性や安全性を向上させることの重要性であった。日田彦山線の復旧に関しては、定時性、速達性、安全性を考慮しつつ、経営の安定・継続も必要であり、早急に復旧を進めるとともに、交流人口の増大と定住人口の維持・増加を図り、利用者確保しなければならぬ。

また、幹線となる日田彦山線だけではなく、広域的な観点に立って、地域住民の生活と交流を支え、また、人々が自然環境や景観に優れた本地域を循環して楽しむことができ、観光面にも寄与する地域内交通ネットワークの整備を、併せて検討するべきである。

よって、福岡県議会は、本県がJR九州や関係自治体と連携し、早急に住民に寄り添った地域振興に取り組むとともに、これを長期的かつ安定的に継続するため、振興基金等の確実な財源を確保するよう求めるものである。以上、決議する。

令和二年三月二十七日

福岡県議会

佐々木はこう思う

知事は昨年のうちに 東峰・添田に入るべきだった

日田彦山線問題については、私も昨年10月に行われた決算審査特別委員会において、知事を質しています。その中で、被災自治体である東峰村、添田町の住民との意見交換を行うつもりはないのか、と何度も知事に訴えたのですが、知事は「まずは東峰村長、添田町長と会う」と述べたのみで、結局住民とは会わず、両首長への会談も、東峰村へ3月に行ったのみでした。

これだけ県議会で紛糾する結果を招いたのは、間違いなく知事が沿線自治体へ寄り添おうとしなかった姿勢の結果です。昨年、知事がもし私の求めに応じ、沿線自治体に行っていれば、状況は大きく変わっていたと思います。

東峰村も添田町も、福岡県にある自治体です。特に東峰村は、県内で最も人口が少なく、九州北部豪雨災害で大きな被害も受けた自治体です。今回の一連の動きを見ると、知事の住民へ寄り添う姿勢がもっとあるべきだと感じています。

日田彦山線復旧については、県議会もその振興策も含めて議論に参加することになっています。知事は県議会で「何度も（東峰村・添田町に）訪れたい」と述べました。その言葉の通り、住民への直接対話も含め、しっかり行ってもらいたいと思います。



県議会予算特別委員会では理事として議会議事の調整役を務めました

日田彦山線の概要 ●延長 68.7km●駅数 24 駅



田川地区県立高校競争倍率は改善

2020年度の田川地域の県立4高校入学志願倍率は、昨年度よりおおむね改善しました。特に県立西田川高校は、前年にくらべ大幅に改善しています。

県立4高校すべてで現在、校舎など施設改善をすすめています。また、田川科学技術高校はコースを細分化し、人材不足が著しい建築・土木分野などの人材育成を強化します。

県立西田川高校は、2021年度から「単位制フレックス型」に変わるなど、教育内容も大きく変わる予定です。

高校授業料無償化に伴い私立高校への志願者が増えていることや、嘉穂高校、育徳館高校など、田川地域から通うことのできる中高一貫校が増えたことなどで、田川地域の県立高校はいずれも定員確保に厳しい状況が続いているのは事実です。しかし、学区制度の基本に立ち返ると、学区内で学びたい生徒に応える教育環境を整えることが必要なのではないかと思います。

生徒数の減少が見込まれる中、引き続き、地域の人には選ばれる県立高校になれるよう、私も引き続き支援していきます。

高校名		定員	志願者	倍率	前年倍率
田川	普通科	200	202	1.01	0.98
東鷹	普通科総合	120	121	1.01	1.06
	総合生活	40	35	0.88	1.08
田川 科学技術	農業食品	80	58	0.73	1.10(※1)
	機械・電気	40	49	1.23	0.95(※2)
	建築・土木	40	35	0.88	0.95(※2)
	ビジネス科学	40	38	0.95	0.78
西田川	普通科	120	117	0.98	0.61

※1 前年倍率は生命科学科のもの ※2 前年倍率はシステム科学技術科のもの

県立東鷹高校 初年度2億4,500万円計上

田川市にある県立東鷹高校は、1994年に田川市の白鳥工業団地内に移転・開校され、今年で25年となります。そのため、外壁などに回収しないといけない箇所が増えており、私も要望活動が続けていましたが、来年度予算に大規模改修工事の予算を計上することができました。

東鷹高校は、建設当時西日本でも随一の施設規模を誇り、総合選択制の「インテリジェントハイスクール」として大きく注目されました。

今後2年間かけて改修を予定しており、これにより教育環境もよりすばらしいものになると思います。

県立田川科学技術高校実習棟建て直し決定

県立田川科学技術高校 1964年に建設され（一部増築）、すでに55年が経過しており、老朽化したために、全面的に建て直しをして教育環境の改善を図ります。解体、改築を含め総事業費は1億3500万円を予定しています。2021年1月現在、福岡県内の建設業の有効求人倍率は3.49倍と、全職種の有効求人倍率1.45倍に比べ2倍以上となっており、人材不足が深刻な状況になっています。将来の「働く」につながる教育をしっかり行う実業系高校は、近年大きく注目されています。科学技術高校の充実に向けて、私も副委員長としてしっかり働きます。

県政報告会を順次開催 様々なお声を伺いました

2月17日、猪位金校区上位登公民館で県政報告会を開催。50名近くの皆さまに集まっていただきました。副委員長に就任している文教行政に関しては、田川地域の学校整備、教育水準の向上などを報告。地元猪位金川の河川改修では、今後も継続的に事業を進めていくことも報告しました。

今後も、県政を身近なものとしてとらえていただけるよう、順次開催していきたいと思っています。小さな単位でも行いますので、お気軽にお声かけ下さい。



データで見る田川地域

第16回 飲食店事業所数・従業員数

新型コロナウイルスによって、飲食店は厳しい経営が続いています。田川市郡8市町村の飲食店事業所数、従業員数を見ると、共に約65%が田川市に集中しています。

そもそも日本の飲食店は、諸外国に比べて薄利多売で商売をしてきました。また、地域の食文化を支え、また社交、観光振興にも大きな役割を担っています。

しかし、飲食店が集団感染の発生源として自粛を、と呼びかけているものの、それを補う補償・経済対策が何もないは極めて問題であり、自粛と補償はセットで行うべきです。

また、飲食業が不況になると、飲食業と取引のある食品会社、酒屋などにも影響を及ぼします。

田川地域の飲食業は、1人1店舗といった零細の事業者がほとんどです。新型コロナウイルスへの支援拡充に向けて私もしっかり取り組みます。

市町村	事業所数	従業員数	就業者全体に対する割合
田川市	317	1,526	7.91%
香春町	22	187	4.60%
添田町	31	95	2.37%
糸田町	9	37	1.07%
川崎町	49	239	3.96%
大任町	10	38	2.01%
赤 村	9	34	2.58%
福智町	39	161	1.87%
市郡計	486	2,317	4.77%
県 計	23,830	170,262	7.55%

※事業所数、従業員数は2016年6月1日現在、就業者数全体は2015年10月1日現在

新・県立美術館建設地 福岡市・大濠公園に決定

現在、福岡市中央区須崎公園にある県立美術館（1964 年建設）の移転新築に向けて協議をしている「新・福岡県立美術館建設地選定委員会」は、このほど、新・福岡県立美術館の建設地を「大濠公園南側にある福岡武道館及び日本庭園の一部を再整備した用地」に決定しました。

理由

1 大濠公園は交通至便で人が集まりやすく、本県を代表する風光明媚な都市公園として高い知名度を有していること。

2 県と福岡市が共同で策定した「セントラルパーク構想」では、大濠公園と舞鶴公園を歴史・芸術文化・観光の発信拠点として一体的に活用をうたっており、その趣旨に合致する。

3 大濠公園に新・福岡県立美術館が設置されることにより、福岡市美術館が近接することとなり、国内有数の美術館エリアが誕生する。

今後、武道館の移転なども含めて検討が進められるため、建設は早くても10 年近くかかると言われています。県全体の芸術文化の発信地として、早期の建設を求めていると思います。

写真提供：福岡市



大濠公園南側（福岡武道館及び日本庭園の一部）



タイ友好議連バンコク訪問 友好関係強化を確認

福岡県とタイ・バンコク都、福岡県議会とバンコク都議会はそれぞれ友好関係を締結しています。1 月にはタイ・バンコク都を訪問し、政府関係者やバンコク都議会の皆さんと会談しました。

タイの国会は昨年より軍政から民政に移管されました。国会議長との会談では、福岡県におけるこれまでの連携を踏まえ、今後の関係強化が確認されました。

また、バンコク都議会では、すでに何度もお会いした都議会議員の皆さんと久しぶりに再会。福岡県に設置されたタイ総領事館がより充実したものになるよう、両地域の交流を深めていくための方策などについて話し合われました。

他にも、ナコンシータマラート県にある「柳川高校附属タイ柳川中学校」を訪問。日本式のカリキュラムも導入し、日本の柳川高校への留学、日本の大学への入学なども果たしています。今期からは、議員連盟の役員に就任。これまで以上に、福岡県とタイ王国との友好関係の強化を図っていきます。



バンコク都議会のニラン副議長と。何度もお会いし親しくお付き合いをしています。

Young farmer Introduction

新しい取り組みに果敢に挑戦しようとしている若手農家をシリーズで紹介

若手農家紹介

第2回

農業で町の活性化に役立ちたい

添田町 野菜農家 白石 誠さん（34）



〔農地面積〕3ヘクタール

〔栽培品目〕きゅうり・なす・ピーマン・ゴーヤ・キャベツ・白菜・ブロッコリー・レタス（サニー・グリーン・玉）大根

〔営農開始〕2016 年

〔主な販路〕農協（北九州青果・新筑豊青果）・スーパー ASO・スーパー川食・トレードマート・

飲遊舎ひこさん・きてみね金川・トライアル

添田町で野菜全般を生産している白石さんは、4 年前に添田町の就農実践塾に入塾し、2018 年には就農塾のさとおや農家の宮金さんと中元寺みらい農業株式会社を設立。農業で町の活性化に役立ちたいと、野菜の生産だけでなく、手塩にかけた野菜をこのたび乾燥野菜として売り出し始めました。

今年は体験農園も開催予定で、たくさんの人に農業を体験してほしいとのこと。白石さんの野菜は飲遊舎ひこさんの中にある英彦山 0 合目食堂で味わうことができるそうです。

1.12

猪位金校区鬼火
たこあげ大会

長い歴史のある催しで、子どものタコ、そして行政区毎に大風を飛ばすコンテストなど多彩な催しになっています。写真は二場公人市長と。

1.18

インドネシア留学生
田川市訪問

田川市川宮の川上さんがしているイチゴ農園を訪問したときの様子。「こんな甘いイチゴは初めてだ」と皆さん感動していました。

1.25

田川伊田駅
オープニングセレモニー

田川市が進めた田川伊田駅の改修事業。一時は経営悪化で非常に厳しい状況でしたが、見事にお披露目することが出来るようになりました。小川洋知事と。

2.12

会派管外視察



宮崎県立飯野高等学校は「高校魅力化プロジェクト」として、地域と一体となったカリキュラムを構築するなど、様々な改革を行っていました。

1.17

筑豊地区舗装協会
業務報告

田川地域の多くの主要道路は県が管理している道路です。そして舗装業界のその維持管理に日夜奮闘しています。田川県土整備事務所へ舗装協会取組を報告へ。

1.19

田川市消防
出初め式

寒い中、各地区の消防団員が集合しました。災害対応では、消防団員が現場の最前端で活躍して頂きます。日頃の生活を抱えての活動に、心から敬意を表します。

2.4

県議会文教常任委員会
視察

学長からは、教員養成課程に特科した大学として、地域の教育者育成に力を入れていること、また英語教育の充実に向けた取り組みなどが紹介されました。

2.21

産炭地振興・JR 福北
ゆたか線議連管外視察

日田彦山線の復旧問題もあるため、JR 北海道の各路線を視察し、状況を確認しました。いずれも厳しい中で観光路線など様々な取り組みを行っていました。

1 月活動報告

- 1 新年神社まわり
- 2 年始街頭演説行動
- 5 福岡教職員組合連絡協議会 2020 年旗開き
- 6 田川商工会議所 令和 2 年度新年祝賀会
- 7 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）/ 県議会会派政策審議会（福岡市）/2020 連合福岡・福岡県労協共催「新年賀詞交歓会」（福岡市）
- 8 県議会文教常任委員会正副委員長勉強会（福岡市）
- 9 県議会議会広報紙編集会議（福岡市）
県議会文教常任委員会管内視察・新年会（福岡市）
- 10 在福岡台湾弁事処会合（福岡市）/ 県議会サッカー部会練習会（福岡市）/ 福岡県教職員組合田川支部新年旗開き
- 11 地域挨拶回り
- 12 奈良地区どんど焼き / 猪位金校区鬼火たこあげ大会 / 令和元年度田川市成人式
- 14 連合後援会幹部会議・允進会新年会
- 16 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）/ 県議会会派政策審議会（福岡市）/ 連合京築田川地域協議会「新春のつどい」（行橋市）
- 17 筑豊地区舗装協会挨拶回り（福岡市）/ 令和 2 年度田川区長会新年会
- 18 福岡県高等学校教職員組合 2020 年旗開き（福岡市）
北九州市立大学インドネシア留学生田川市案内
風治八幡宮川渡り神幸祭みこしをかつぐ会新年会
- 19 令和 2 年度田川市消防出初め式
- 20 県議会議会広報紙編集会議（福岡市）/ 県議会子育て支援・人財育成調査特別委員会管内視察（福岡市・糸島市）
- 21 県議会子育て支援・人財育成調査特別委員会管内視察（福岡市・糸島市）
- 23 田川文化連盟新年会
- 24 佐々木まことを囲む新春のつどい
- 25 田川伊田駅舎施設オープニング記念式典
- 26 福岡県タイ友好議員連盟タイ訪問視察（タイバンコク）～ 30 日
- 31 九州各県議会議員交流セミナー（大分市）

2 月活動報告

- 1 議員インターン面接 / 社会民主党田川総支部大会 / 県営中央団地 4 区懇親会
- 2 シャンナス田川発足式
- 3 県議会議会広報紙編集会議（福岡市）
県議会文教常任委員会管内視察（田川市）
- 4 県議会文教常任委員会管内視察（田川市）
連合後援会幹部会議
- 5 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）
- 6 議会運営委員会管外視察（宮崎県・鹿児島県）
- 7 議会運営委員会管外視察（鹿児島県）
- 8 猪位金後援会世話人会
- 9 子ども会廃品回収
- 10 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）
- 11 平和憲法をいかす会総会
- 12 会派管外視察（宮崎県・熊本県）～ 14 日
- 15 令和元年度福岡県教育文化表彰式（福岡市）
令和元年度田川市社会福祉大会
- 17 上位登区県政報告会
- 18 田川警察署治安情勢報告会 / 県議会サッカー部練習会（福岡市）
- 19 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）/ 県議会会派政策審議会（福岡市）/ 県議会議会運営委員会（福岡市）/ 県議会議会広報紙編集会議（福岡市）/ 議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 20 県議会産炭地振興議員連盟管外視察（北海道）
- 21 県議会産炭地振興議員連盟管外視察（北海道）
- 22 県議会産炭地振興議員連盟管外視察（北海道）
- 23 叙勲受章祝賀会
- 25 連合後援会幹部会議 / 県議会議会運営委員会理事会（福岡市）
- 26 県議会本会議（福岡市）/ 県議会議会運営委員会（福岡市）
- 27 県議会文教常任委員会勉強会（福岡市）/ 福岡県労働政治懇談会（福岡市）
- 28 終日政務活動（福岡市）

3 月活動報告

- 1 県立東鷹高等学校卒業証書授与式
- 2 県議会本会議（福岡市）
- 3 県議会本会議（福岡市）
- 4 県議会本会議（福岡市）/ 県議会スポーツ議員連盟講演会（福岡市）/ 県議会タイ友好議員連盟役員会（福岡市）/ 県議会議会運営委員会（福岡市）
- 6 県議会本会議（福岡市）
- 9 県議会本会議（福岡市）/ 県議会林活議員連盟役員会（福岡市）
県議会タイ友好議員連盟友好親善意見交換会（福岡市）
- 10 県議会本会議（福岡市）
県議会スポーツ議員連盟役員会（福岡市）
- 11 県議会本会議（福岡市）/ 県議会予算特別委員会（福岡市）
- 12 県議会文教常任委員会（福岡市）
- 13 議会運営委員会（福岡市）
- 16 県議会予算特別委員会（福岡市）～ 23 日
- 24 県議会文教常任委員会（福岡市）
- 25 県議会予算特別委員会（福岡市）
- 26 県議会議会運営委員会（福岡市）
- 27 県議会本会議（福岡市）

佐々木まこと事務所

〒825-0002 田川市伊田4510-6

tel 0947-85-9015

fax 0947-85-9007



佐々木 まこと

検索

ホームページ



LINE@

